



久保泉だより

佐賀市立久保泉小学校

学校だより 第14号

令和7年 7月11日

文責：校長 中村 佳代

*** 姉妹校教育交流訪問（6年） ***

7月7日（月）に、アメリカのグレンズフォールズ市から、高校生3名（佐賀北高等学校で交流中）と引率の先生1名、ボランティア通訳の先生1名が、姉妹校である本校を訪問されました。交流活動を行う6年生が「何をしたら楽しんでもらえるだろうか？」と話し合い、考えたプログラムは、「だるまさんがころんだ、羽根つき、けん玉、七夕飾り」と、盛りだくさんでした。（折り紙は時間の都合でできませんでした。）暑い中ではありましたが、とても楽しんでいただけたようです。プレゼントとして、上手に作った「手作りお寿司（食べられません）」が手渡され、喜んでいただきました。あちらこちらで見られる、子どもたちの相手を思う優しさが詰まった交流会でした。



初めての羽根つき。上手です!!



みんなで、だるまさんがころんだ



まずは、自己紹介!!



プレゼントも渡しました!!



七夕飾り!!



けん玉も初めて。とても上手です!!

*** 七夕飾りに願いを込めて!! ***

姉妹校交流のために、七夕飾りの準備をしていた6年生が、「全校のみんなにも願い事を書いてもらおう!!」と発案し、下級生に呼び掛けました。学習室で短冊に願い事を書き、児童玄関前で笹竹に飾り付けていきます。笹竹は、学校事務職員の野中先生に、持って来ていただいたものです。短冊を飾り付ける子どもたちはとても楽しそうでした。みんなの願い事がかなえられますように!!



*** 算数の授業で（3年） ***

ある日の3年生の教室です。算数の時間で、子どもたちは習熟の学習に取り組んでいました。与えられた課題に沿って、自分のペースで「確認テスト」を進めています。タブレット



の問題が終わると、教科書の問題に進んでい

ました。一人一人の理解度や自分に合った方法で学習に取り組むことができると、より効果的に学習を進めることができ、定着を図ることもできそうです。



*** 出前授業（4年）～県河川砂防課より～ ***

7月8日（火）に、佐賀県の河川砂防課の方々においでいただき、出前授業を行っていただきました。平成29年の九州北部豪雨をきっかけに立ち上がった「森川海人プロジェクト」の一環で、佐賀県の森・川・海と人々とのつながりを見つめ直すことで、環境保全への意識を高めていこうという取組です。県内の様々な川の様子を見せていただいたり、河川の氾濫や土砂災害を防ぐために、どのようなことに取り組まれているのか教えていただいたりすることができました。レゴブロックの模型で、その仕組みも説明していただきました。自然から多くの恵みをいただ



*** 出前授業（5年）～田んぼダムについて～ ***

7月10日（木）には、5年生の子どもたちが「田んぼダム」について学びました。佐賀市役所の農村環境課、佐賀県の佐賀中部農林事務所農村環境課、同じく佐賀県の農地・水多面的機能推進協議会からたくさんの方々においでいただき、「田んぼダム」の仕組みや取組について教えていただきました。「田んぼダム」とは、農家の方々に協力していただき、浸水被害等から地域を守るための取組だそうです。佐賀市では、兵庫・巨勢・金立・久保泉地区で取り組まれているそうで、その面積は、約500haにもなるのだそうです。「田んぼダム」で、佐賀江川へ流れる雨水を少なくすることでした。実物の排水柵や堰板・調整板を見せていただいたり、模型を使って詳しく仕組みの説明をしていただいたりしました。自然と共生するための取組の一つだと知ることができました。

